

NPO活動事業報告書

令和7年度



政策経営部 あだち未来創造室
SDGs・協創推進課
令和8年5月

「NPO活動事業報告書」発行にあたって

足立区NPO活動支援センター（以下、「センター」という。）は、地域貢献を目指すNPO法人および任意団体等への支援と育成を行い、地域社会の活性化を図ることを目的に、平成15年6月に設置された施設です。

令和8年3月末現在登録団体は318団体となり、センターを中心に、福祉・健康・子育て分野に169団体、教育・文化・芸術・スポーツ分野に84団体、まちづくり・環境分野に36団体、平和・人権・国際交流分野に13団体、IT・経済活動分野に3団体、その他13団体が区内各地で活動しています。

センターでは、「NPO団体の育成と活動支援」「地域活動人材の発掘と育成」を目指し、「団体活動への支援やアドバイス」「団体間連携のコーディネート」「人材の発掘・育成」として、「センター登録団体向け講座」「相談業務」「子ども食堂・フードパントリー団体への食品支援」「情報発信」「意見交流会」「イベント開催」「あだち皆援隊講座」等の事業を行っています。

本報告書では、令和7年度にセンターが取り組んだこれらのNPO活動支援事業の概要や実績についてご報告いたします。

本文中の活動団体等に関する表記について

- ・ NPO法人…都道府県及び政令指定都市で「特定非営利活動法人」と認証された団体
- ・ 任意団体…法人格を持たない公益活動団体
- ・ その他……一般社団法人、社会福祉法人、公益財団法人
- ・ 登録団体…足立区NPO活動支援センターに登録している「NPO法人」「任意団体」「その他」

目 次

1	区民向け業務	1
(1)	講座	1
(2)	情報発信	8
(3)	あだちN祭	13
2	団体支援業務	18
(1)	相談対応	18
(2)	交流会	21
(3)	アウトリーチ	23
(4)	げんき応援事業助成金	25
3	その他業務	27
(1)	団体登録状況について	27
(2)	支援品関連業務	30
(3)	その他事項への対応状況	34

1 区民向け業務

(1) 講座

令和7年度より、団体向け・区民向けといった講座の区分をなくし、双方にとって学びのある講座の実施を目指した。区民に対しては、地域活動に親しみ、興味・関心を高めることで参加を促進することを目的とし、団体に対しては、運営および活動の向上や交流を通じた連携機会の促進をそれぞれ目的として講座を開催した。

年間10企画・13回の計画に対し、計9企画・12回の講座を実施、満足度および参加率の両面において、いずれも目標を達成することができた。

【今年度の新規性および具体的な成果】

- 申込時点における定員割れが発生しなかった。
- 講座開催前にリマインドメールを2回送信したことにより、前年度の課題であった無断欠席の防止につながり、改善が見られた。
- 講座終了後に一定時間会場を開放し時間的余裕を持たせたことで、講師やコーディネーターを務める相談員への相談機会が増加した。
- 「子ども食堂スタッフ体験」は昨年度に引き続き高い人気を集め、2回とも定員を超える申込があった。当日のスタッフの中には、昨年度の講座受講をきっかけにボランティア活動を開始した参加者も含まれており、開催後の団体への事業視察の際には、スタッフ体験参加者が実際にボランティアとして活動する様子が確認された。これにより、講座の実効性が明確に示された。
- 「かけはしエリアマネジメントプロジェクト」や「コミュビズあだち」など、一昨年のセンター講座をきっかけに活動を開始した団体が着実に力をつけ、今年度も継続して講座に参加することで、活動がさらに活発化している。またN祭への出店など、対外的な展開にもつながっている。
- 区民向け講座について、前年度までは主に川名相談員が担当していたが、区民・団体の区分をなくした今年度からは、秋本相談員および田仲相談員も講師として登壇するようになった。このことが両名への相談機会の増加につながり、地域活動を始めようとする区民や地域団体から両名への相談件数が増加した。特に田仲相談員については、「ハニホヘトイロ」や「花畑地区交通協議会」などのセンター登録団体からの継続的な相談が増えている。
- 秋本相談員が講師を務めた「動画作成講座」および「AI活用講座」は、区民・団体双方から非常に高い関心を集め、いずれもキャンセル待ちを含め申込者数は50名以上にのぼった。また、こうした講座をきっかけに、リピーターとして他の講座に参加する区民参加者が増加した。

【課題】

● 会場選定

参加人数に対して過度に広い会場を選定したため、会場全体の一体感やにぎわいに欠ける場面が見受けられた。今後は企画段階において、内容や想定参加人数に適した会場を検討し、適切な規模の会場で開催できるよう努めていく。

● 外部会場の多さ

講座終了後の相談機会および相談件数は増加したものの、センター開催であれば、相談に訪れる場所もすぐにわかることから、より多くの相談機会を確保できた可能性があると考えられる。今後はリーフレットや情報紙を活用しながらセンターの周知を図るとともに、開催場所として積極的にセンターを活用していきたい。

● 講座受講者の継続的な地域活動への誘導

講座受講者が相談につながり、地域活動を立ち上げるケースが一定数見られたことは大きな成果であった。一方、より多くの受講者が相談につながるような仕掛けや、活動を立ち上げた受講者がその活動を持続化していくための支援（仲間集め～チームビルディング、団体化、団体運営への伴走支援等）をタイミングよく提供する仕組みについては今後の課題となった。

【まとめ】

区民および団体双方の関心を的確に捉えたテーマ設定と、新規性のある講座内容により、幅広い参加を促すことができた。特に、区分の垣根をなくした講座運営や、動画作成・AI活用といった時流に即した講座の実施は、高い関心と継続的な参加につながった。

また、講座終了後の相談機会の充実やリピーターの増加など、受講後のフォロー体制および継続的な支援の有効性も確認された。今後は、こうした成果を踏まえ、講座をきっかけとした地域活動への参加や団体活動のさらなる活性化につなげていくことを目指す。

実施回数：12回（9企画）

No.	講座名 及び 内容	参加数
1	ビジネスでまちを元気に！コミュニティビジネス講座（第1回） 日 時／令和7年5月10日(土) 14:00～16:00 場 所／足立区 NPO 活動支援センター・オンライン 分 類／体験・実践 講 師／街活性室株式会社 代表取締役 斎藤徹 氏 子育てカフェ eatoco 阿部直子 氏 合同会社あやせのえんがわ 森川公介 氏 進 行／足立区 NPO 活動支援センター 相談員 川名千鶴子 内 容／地域社会に貢献するためのビジネススキルや知識を学び、 地域の活性化や持続可能な発展に向けて具体的に行動を起こ せる人材を発掘・育成する。	定員／会場 20 名 オンライン 10 名 申込／会場 23 名 オンライン 7 名 参加／会場 22 名 オンライン 4 名

No.	講座名 及び 内容	参加数
2	<p>ビジネスでまちを元気に！コミュニティビジネス講座（第2回）</p> <p>日 時／令和7年5月25日(日) 14:00~16:00 場 所／足立区 NPO 活動支援センター・オンライン 分 類／体験・実践 講 師／街活性室株式会社 代表取締役 斎藤徹 氏 進 行／足立区 NPO 活動支援センター 相談員 川名千鶴子 内 容／ワークショップ「コミュニティビジネスを考えよう！」の開催。参加者同士の意見交換・交流を行うことで、参加者間のネットワークを構築するとともに、具体的な事業や活動を組み立てる。</p>	<p>定員／会場 20 名 オンライン 10 名 申込／会場 19 名 オンライン 6 名 参加／会場 18 名 オンライン 3 名</p>
3	<p>子ども食堂スタッフ体験（第1回）</p> <p>日 時／令和7年6月14日(土) 10:00~13:00 場 所／エル・ソフィア 料理室 分 類／体験・実践 講 師／足立区 NPO 活動支援センター センター長 高田篤 足立区子どもの貧困対策・若年者支援課 係長 今茂 氏 1 こども食堂がるまる 宮本明彦 氏 2 すまいるキッチン 重田康代 氏 3 すまいる食堂 阿部あきな 氏 4 東綾瀬子ども食堂 糸井偉 氏 進 行／足立区 NPO 活動支援センター 相談員 川名千鶴子 内 容／子ども食堂の概要や区内の食堂を紹介し、子どもたちに提供しているメニューの調理実食を体験する。</p>	<p>定員／会場 20 名 申込／会場 27 名 参加／会場 22 名</p>
4	<p>スマホひとつで！動画作成講座（第1回）</p> <p>日 時／令和7年7月13日(日) 14:00~15:30 場 所／足立区 NPO 活動支援センター・オンライン 分 類／体験・実践、周知・啓発 講 師／足立区 NPO 活動支援センター相談員 秋本創 内 容／スマートフォンを使って手軽に動画を撮影・編集し、SNS や YouTube で発信する方法を学ぶ。動画の企画から撮影・編集・公開まで、一連の流れを2日間で実践的に学び、初心者の方でも簡単に動画制作ができるようになることを目指す。</p>	<p>定員／会場 20 名 オンライン 10 名 申込／会場 33 名 オンライン 22 名 参加／会場 18 名 オンライン 23 名</p>

No.	講座名 及び 内容	参加数
5	スマホひとつで！動画作成講座（第2回）	
	<p>日 時／令和7年7月27日(日) 14:00~15:30 場 所／あやセンター ぐるぐる 分 類／体験・実践、周知・啓発 講 師／足立区 NPO 活動支援センター相談員 秋本創 内 容／スマートフォンを使って手軽に動画を撮影・編集し、SNS や YouTube で発信する方法を学ぶ。動画の企画から撮影・編集・公開まで、一連の流れを2日間で実践的に学ぶ。</p>	<p>定員／会場 20 名 オンライン 10 名 申込／会場 33 名 オンライン 22 名 参加／会場 17 名 オンライン 16 名</p>
6	はじめての障がい者支援 ～私ができる“ひとつ”から始めよう～	
	<p>日 時／令和7年8月24日(日) 14:00~16:00 場 所／ギャラクシティ レクリエーションホール3 分 類／体験・実践、周知・啓発 講 師／足立区 NPO 活動支援センター センター長 高田篤 Freedas&Links 山田洋之 氏、 小林みはる 氏 みみより会 宮田はるみ 氏 進 行／足立区 NPO 活動支援センター 相談員 川名千鶴子 内 容／支援に携わる現場の声や、支援される当事者の体験から障がいの実態や障がい者が日常生活で抱える課題について知り、団体立ち上げを含め、自分ができる支援活動について考える。</p>	<p>定員／会場 20 名 申込／会場 34 名 参加／会場 19 名</p>
7	地域活動に必要な資金づくり入門～共感から生まれる支援～	
	<p>日 時／令和7年9月27日(土) 14:00~15:30 場 所／足立区 NPO 活動支援センター・オンライン 分 類／周知・啓発 講 師／足立区 NPO 活動支援センター相談員 田仲恭子 内 容／地域活動・NPO 活動を行っていくための主な財源と、共感を呼ぶことで得られる支援性の資金調達（寄附や会費、助成金、クラウドファンディング）について解説する。また参加者に、共感をひろげるための「活動の言語化」にも取り組んでもらう。</p>	<p>定員／会場 20 名 オンライン 20 名 申込／会場 21 名 オンライン 25 名 参加／会場 17 名 オンライン 14 名</p>
8	傾聴から学ぶコミュニケーション術講座	
	<p>日 時／令和7年10月18日(土) 14:00~16:30 場 所／ギャラクシティ 多目的室1・2 分 類／体験・実践、周知・啓発 講 師／足立区 NPO 活動支援センター センター長 高田篤 パシエントサロン協会 会長 鈴木信行 氏 進 行／足立区 NPO 活動支援センター 相談員 川名千鶴子 内 容／コミュニケーション（またはファシリテーション）の基本となる「傾聴」の姿勢に焦点を当て、実際に傾聴を取り入れている団体の事例を通じて、その重要性と方法を学ぶ。</p>	<p>定員／会場 36 名 オンライン 50 名 申込／会場 36 名 オンライン 11 名 参加／会場 25 名 オンライン 7 名</p>

No.	講座名 及び 内容	参加数
9	地域活動に活かす！はじめてのAI活用講座	
	<p>日 時／令和7年12月14日(日) 14:00~15:30 場所／足立区 NPO 活動支援センター・オンライン 分 類／周知・啓発 講 師／足立区 NPO 活動支援センター相談員 秋本創 内 容／AI の基礎的な知識と活用方法を学び、文章作成や情報発信、助成金申請に必要な書類作成など、地域活動に直結する実践的なスキルを学ぶ。参加者の技術習得支援のため、12月17日、21日の2回にわたり補講を行い参加者の要望に応じた指導を行った。</p>	<p>定員／会場 20名 オンライン 50名 申込／会場 36名 オンライン 55名 参加／会場 23名 オンライン 35名</p>
10	子ども食堂スタッフ体験（第2回）	
	<p>日 時／令和8年1月31日(土) 10:00~13:00 場所／エル・ソフィア 料理室 分 類／体験・実践 講 師／足立区 NPO 活動支援センター センター長 高田篤 1 こども食堂がるまる 宮本明彦 氏 2 ちびっこだんぶりの日 荻田佳奈枝 氏 3 中高生 café 中島正行 氏 4 東綾瀬子ども食堂 糸井偉 氏 進 行／足立区 NPO 活動支援センター 相談員 川名千鶴子 内 容／子ども食堂の概要や区内の食堂を紹介し、子どもたちに提供しているメニューの調理実食を体験する。</p>	<p>定員／会場 24名 申込／会場 40名 参加／会場 21名</p>
11	先輩から学ぶ あだちの学習支援の現場	
	<p>日 時／令和8年2月8日(日) 14:00~16:00 場所／足立区 NPO 活動支援センター・オンライン 分 類／周知・啓発 講 師／足立区 NPO 活動支援センター センター長 高田篤 1 社会福祉法人からしだね 2 日本語ボランティアめいめい 3 認定特定非営利活動法人カタリバ 4 ハレノヒおとなこども食堂 進 行／足立区 NPO 活動支援センター 相談員 川名千鶴子 内 容／区内学習支援団体の事例紹介と課題共有、参加者と少人数で意見を交換し理解を深める講座。</p>	<p>定員／会場 20名 オンライン 50名 申込／会場 30名 オンライン 28名 参加／会場 17名 オンライン 21名</p>

No.	講座名 及び 内容	参加数
12	まちづくりワークショップ	
	日 時／令和8年3月8日(日) 13:00~16:00 場 所／足立区 NPO 活動支援センター 分 類／周知・啓発 講 師／足立区 NPO 活動支援センター センター長 高田篤 1 学習支援ボランティア iroiro 2 とうきょう千住・キエ 3 花畑もりあげ隊 4 ひよっこリナースマンズ 進 行／足立区 NPO 活動支援センター 相談員 川名千鶴子 内 容／自身の想いやアイデアを、ワークショップを通し地域活動の 具体的な活動プランに昇華する。	定員／会場 20名 申込／会場 24名 参加／会場 18名

区民向け講座 定員・参加者総数

年度	定員合計	対面参加者数合計	オンライン参加者数合計	参加者数総数
令和7年度	対面260名・ オンライン210名	237名	123名	360名
令和6年度	対面390名・ オンライン200名	366名	82名	448名
令和5年度	対面330名・ オンライン240名	254名	116名	370名
令和4年度	対面390名・ オンライン215名	278名	82名	360名

(参考) 過去の団体向け講座 定員・参加者総数

年度	定員合計	対面参加者数	オンライン参加者数	参加者総数
令和6年度	460名	69名	35名	104名
令和5年度	347名	111名	57名	168名
令和4年度	414名	117名	40名	157名

講座受講者総数

年 度	合 計		年度合計
	区民向け講座	団体向け講座	
令和7年度	360名		
令和6年度	448名	104名	552名
令和5年度	370名	168名	538名
令和4年度	360名	157名	517名

(2) 情報発信

ア 情報紙「ひらけ！Nのトビラ」の発行（年2回発行）

これまで「A-PARTNERS」として発行してきた情報紙について令和7年度から大幅にリニューアルし、NPO情報紙「ひらけ！Nのトビラ」として発行した。その目的は、以下の3点である。

- ① NPO活動や地域活動に少しでも関心のある方、潜在的な関心層に、NPO活動や地域活動について知っていただく。
- ② 仕事や家庭以外に何か新しいことを始めてみたいとモヤモヤしている方に、自分でも何かできるかもと思っていただく。
- ③ NPO活動支援センターを身近に感じていただく。

上記方針を受け、令和7年9月発行となった第1号では、以下の内容を収録した。

- ・ なんとかしたいという思いを形に
地域課題への気づきから活動の始まり、団体（チーム）化という一連の流れをストーリーとして提示。地域活動の例とあわせて、より活動のイメージが伝わるようにした。
- ・ データで見る、足立区NPO活動の今
センター登録団体のエリア毎、分野毎の数を提示、区内各地で多様な種類のNPO活動が展開されていることを示した上で、エリア特化の活動の例、分野特化の活動の例をそれぞれ提示し、地域活動、テーマ型NPO活動について知っていただけるようにした。
- ・ NPO活動支援センターってどんなところ？
相談・講座・交流会・N祭といった、センターの支援メニューを紹介した。

令和8年3月発行となった第2号では、以下の内容を収録した。

- ・ 足立発！小さな一歩から始まる物語
コロナ禍前後に活動を始めた3団体から、活動を始めたきっかけ、活動してみて感じたこと、これからやってみたいことを聞く座談会を開催、その内容を収録した。
- ・ 「やってみた」人のところに行ってみた！
重点事業として実施したアウトリーチ活動の成果として、5団体への訪問の様子を掲載。
記事の作成にあたっては、NPO活動支援センター職員が団体に取材を行い、団体の活動内容やコメントをいただいた。

NPO情報紙「ひらけ！Nのトビラ」発行一覧

	発行月	部数
vol. 01	令和7年9月	2, 500部
vol. 02	令和8年3月	3, 000部



イ あだち協働パートナーサイト

登録団体の開催事業情報、募集情報、活動報告等に加え、協働・協創に関する区からの情報や助成事業紹介、講座をはじめとするNPO活動支援センターの事業案内、その他機関の事業・イベント紹介等、区民への情報提供を強化し、協創の推進を図った。また、げんき応援事業助成金採択事業の報告も各団体がサイトを活用して行っている。

【あだち協働パートナーサイト集計表】

・ユーザー（1回以上、サイトに訪問した数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R7	1,858	2,151	1,942	1,914	1,754	1,728	4,011	2,027	2,005	2,523	2,315	3,058	27,286
R6	2,056	2,260	2,375	2,095	2,022	1,940	1,993	2,045	1,594	1,830	1,711	1,718	23,639
R5	1,954	2,295	2,320	2,339	2,148	2,157	2,097	2,234	1,644	1,544	1,658	1,880	24,270

・新規ユーザー（初めてサイトに訪問したユーザーの数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R7	1,718	2,004	1,785	1,790	1,650	1,622	3,884	1,925	1,919	2,426	2,199	2,875	25,797
R6	1,917	2,126	2,248	1,980	1,919	1,830	1,887	1,946	1,491	1,721	1,562	1,582	22,209
R5	1,529	2,657	1,886	2,299	1,690	1,704	1,807	1,825	1,676	1,900	1,612	1,717	22,302

・表示回数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R7	4,978	8,066	5,182	4,587	6,400	4,032	6,769	3,835	4,635	4,405	4,385	5,291	62,565
R6	6,311	6,436	11,241	6,375	7,653	5,170	5,006	7,168	4,030	6,718	4,232	4,291	74,631
R5	5,915	7,001	6,766	6,335	5,549	6,017	5,887	5,998	5,599	4,947	5,519	8,392	73,925

・セッション（今月ユーザーがサイトに訪問した数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R7	2,409	2,583	2,398	2,377	2,010	2,030	4,280	2,258	2,289	2,849	2,629	3,332	31,444
R6	2,668	2,833	2,747	2,627	2,371	2,400	2,450	2,395	1,949	2,144	2,059	2,069	28,712
R5	2,513	2,906	2,879	2,932	2,675	2,753	2,618	2,775	2,053	1,988	2,132	2,295	30,519

ウ メールマガジンの配信

月1回のペース、年間計12回配信を行っている。センター主催講座の開催告知、新規登録団体の紹介、助成金情報、先進事例紹介、区主催のイベント情報等を集約し、発信した。

エ SNSの活用

X(旧Twitter)、FacebookおよびInstagramを活用し、センター運営の様子や、センター登録団体のイベント情報、センター主催講座及びイベントの開催告知等を送信した。各SNSについてそれぞれ1開館日1投稿を目指し、積極的な投稿を行った。その結果、各SNSの閲覧、フォロワー、各種リアクションの数は着実に増加している。

また、10月下旬から「あだちN祭」当日にかけて参加団体から出展内容を集め、イベント情報や団体情報を集中的に配信することで、通常配信時を大きく上回る情報発信につなげることができた。

今後も月毎にインプレッション数やアクセス数、リーチ数等を分析し、より多くの方への情報提供、発信の拡充を図り、区民や市民活動団体に対して更なる認知度の向上を目指していく。

【X(旧Twitter) 集計表】

・ポスト数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R7	18	29	33	21	21	18	32	54	18	24	23	17	308
R6	11	14	34	21	18	25	27	36	41	20	33	17	297
R5	23	25	32	30	33	36	27	33	31	24	33	20	347

・ポストインプレッション(ポストした内容が、他のユーザーに表示された回数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R7	4,732	5,527	7,298	3,400	5,398	2,819	5,659	9,430	3,604	3,819	5,538	2,445	59,669
R6	3,742	2,813	7,052	7,371	5,950	4,994	7,321	9,790	13,587	6,715	7,806	4,234	81,375
R5	9,475	10,836	16,911	16,591	23,000	12,595	10,127	15,367	10,679	6,384	8,125	8,199	148,289

・いいね数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R7	58	103	137	60	59	41	88	188	86	102	111	55	1,088
R6	93	228	230	254	274	202	159	234	187	110	165	105	2,241
R5	79	296	248	203	51	142	175	257	213	178	301	121	2,264

・フォロワー数(翌月1日時点)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
R7	937	943	949	953	958	963	974	981	983	988	992	981
R6	794	792	807	812	830	852	858	880	887	895	908	919
R5	627	643	657	677	691	706	711	721	743	757	770	780

【Facebook 集計表】

・投稿数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R7	18	30	50	20	27	23	30	47	16	23	20	21	325
R6	11	11	26	19	17	21	25	35	41	20	33	15	274
R5	20	24	26	27	30	31	20	28	24	24	27	20	301

・リーチ（ページのコンテンツを見たユーザー数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R7	2,071	2,117	2,447	2,351	3,313	2,860	4,270	8,713	1,753	2,233	5,342	4,051	41,521
R6	1,326	1,105	2,752	1,738	1,482	1,069	1,253	2,540	3,700	1,000	2,127	587	20,679
R5	1,702	2,176	2,109	3,134	2,534	2,884	1,811	1,884	2,314	2,493	2,110	1,735	26,886

・いいね数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R7	152	200	211	196	173	226	253	441	108	155	149	110	2,374
R6	160	106	186	146	115	115	127	191	171	89	182	99	1,687
R5	140	241	195	352	258	320	172	175	137	146	196	170	2,502

・フォロワー数（翌月1日時点）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
R7	400	411	413	418	421	419	425	427	429	435	438	439
R6	357	364	368	368	369	371	357	380	385	385	390	394
R5	270	282	293	300	305	315	318	324	329	336	343	348

【Instagram 集計表】（令和7年度より開設、運用開始）

・投稿数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R7	15	29	23	19	18	22	29	52	21	24	23	17	292

・リーチ（ページのコンテンツを見たユーザー数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R7	572	1,850	1,055	3,670	5,887	6,236	12,809	32,000	6,227	6,807	6,885	5,577	89,575

・閲覧（フォロワー以外）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R7	200	685	359	1,541	2,278	2,494	3,696	15,424	2,659	1,838	1,928	1,846	34,948

・いいね数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R7	51	215	176	255	269	371	483	885	221	211	334	270	3,741

・フォロワー数（翌月1日時点）

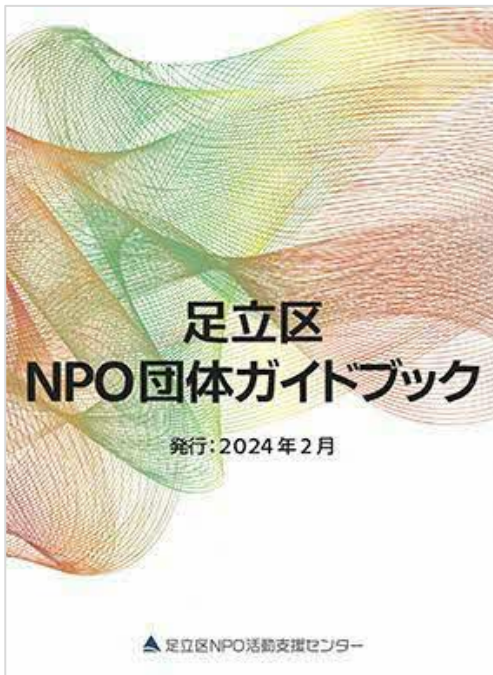
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
R7	24	68	100	142	169	203	237	272	297	319	330	349

オ 登録団体紹介冊子

当施設の登録団体の紹介及び区民のNPOへの認知向上を目的とし、令和5年度更新時は170団体への聴き取りを行い、収集した情報を足立区内のNPO団体資料「足立区NPO団体ガイドブック」として発行したものを。

令和7年度中には、新規登録団体、講座実行時、来館相談者等へNPO団体の紹介として配布を行った。リーフレットと合わせて興味を示す来場者に区内NPO活動及び活動団体の周知・啓発が図られた。

資料記載団体：170団体



○子育て支援

○介護・福祉

○環境・まちづくり

○文化・芸術

(3) あだちN祭

ア 概要

名 称：あだちN祭2025

日 時：2025年11月15日（土）・16日（日） 10:00~15:00

会 場：東武スカイツリーライン梅島駅周辺 下記4会場

①梅田地域学習センター（エル・ソフィア）

②梅島公園

③足立成和信用金庫 中央支店 駐車場

④足立区NPO活動支援センター

目 的：・区民がNPO・地域活動について知り、活動に触れ体験する機会を提供する。
・NPOと区民（NPO同士、区民同士）の交流を促進し、より多くの区民に地域活動への参加を促す。

主 催：足立区NPO活動支援センター、足立区（SDGs・協創推進課）

イ 企画内容

（ア）ブース出展

計93団体（足立区内NPO・地域活動団体、企業CSR出展等）

- ・団体紹介
- ・物品販売（飲食物含む）
- ・活動体験ワークショップ
- ・キッチンカー
- ・ステージ出演
- など

※出展なし・チラシ配架のみ：9団体



（イ）交流企画

出展団体同士、また団体と区民との交流促進のため、来場者も出展団体も一緒に楽しめる「交流企画」を実施した。体育館会場に20~30人程度が交流できるスペースを設置し、1時間程度の企画を2日間で計4企画実施。実施企画は登録団体を中心に提案を募集し、当日の企画運営も各団体が中心となって行われた。

- ・15日（土）午前：出会いとふれあい広がる♪みんな楽しくポッチャ体験
- ・15日（土）午後：怒りを笑顔に変えるアンガーマネジメントカードゲーム体験
- ・16日（日）午前：的あて体験ゲーム「防災でかマッチ」！ガシャポンもあるよ！
- ・16日（日）午後：親子で！友達同士で！子どもから大人まで楽しめるボードゲーム大会！



(ウ) スタンプラリー

来場者に4会場全体を回遊してもらうため、各会場のブースでスタンプを集めるスタンプラリーを実施。最低3会場分のスタンプを集めると抽選会に参加できる仕組みとした。



(エ) 抽選会

開催中、NPO活動支援センターにて、区内企業や団体からの協賛品を景品とした、外れなし抽選会を実施した。「特別賞」「おもちゃ賞」「美容賞」「ライフグッズ賞」「参加賞」の各賞を設定。景品数は約5,000点。

【当日の抽選数】

15日(土) : 804
16日(日) : 1,153
両日計 : 1,957



(オ) 参加型企画

抽選会場にて、来場者がN祭に参加して「やってみたい!」と思った地域活動を付箋に書き、木のデザインを施した模造紙に貼ってもらう参加型企画を実施。企画名は「あなたの『やってみたい!』を書いてみよう!」。ボランティアスタッフの熱心な声掛けもあり、2日間とも来場者によって多くの付箋が貼られた。



エ 来場者数

約4,500人（15日（土）約1,900人、16日（日）約2,600人）
来場者アンケート回収数は計337件。

オ 成果と課題

（ア）成果

・ 目的の達成度

スタンプラリー実施により、来場者が複数の会場・ブースを回遊するよう促した。また各出展団体にも企画参加や活動紹介の聴講、物品購入などをした来場者にスタンプを押すよう要請したことで、来場者の多くが複数のNPO活動に触れる機会を創出するとともに、来場者と出展者とのコミュニケーションも一定量生み出すことができた。

・ 区民参加や団体間交流の成果

今回、新たな試みとして交流企画を実施。来場者はどの企画においても一定数の参加を促すことができた。当該企画開催時には、ステージからの呼びかけや、館内放送を通じた案内等を行い、より多くの参加者が交流企画に触れる機会を作るように配慮した。

交流企画の参加者の多くが一般来場者とみられ、出展団体が一緒に交流を盛り上げる機会としては、課題を残す結果となった。

（イ）課題

・ 広報

チラシ等発行物データの完成が予定より遅れ、イベント広報が十分であったとはいいがたい。出展団体から「周囲への呼びかけを行うためにもチラシは有効」という声も上がっており、出展団体への配布を早めるためにも、作成工程やスケジュールに見直しが必要と考える。

・ 来場者数

前年比、1日目（土曜日）の来場者数減が目立ち、約500人の減少とみられている。一方、来場者とじっくりコミュニケーションを取ることができたという声が複数の参加団体から寄せられており、適正な来場者数となったという評価も可能であると考えられる。

・ 駐輪場

過年度より課題となっていたエル・ソフィア駐輪場が飽和してしまう問題について、体育館を借りたことでN祭以外の一般来場者が減少した効果か、梅島公園・NPO活動支援センターへの誘導で一定程度混乱を抑えることができた。

一方、梅島公園（特に北口）への駐輪の集中が見られた一方、NPO活動支援センターの駐輪場には一定の余裕が見られた。今後は、駐輪場間の調整をより細かく行い、より多くの来場者が駐輪できるような工夫が必要と思われる。

さらに、今年より新設した梅島小学校の駐輪場（日曜日のみ）についてはほとんど利用がなく、開催途中に閉鎖する運びとなった。メイン会場であるエル・ソフィア、梅島公園から少し距離があることが原因とみられ、またポスターやリーフレットに位置を記載していたも

のの、その事前周知が十分にできていなかったと考えられる。次年度以降の梅島小学校駐輪場の設置については、再考の余地があるといえる。

カ 次年度への提案・改善案

(ア) 広報

- ・発行物作成工程の見直しを行い、事前周知、団体へのチラシ提供の早期化を目指す。

(イ) 運営体制強化

- ・センターとつながりのあった大学ボランティア団体への声掛けによって確保できた必要人員の割合が非常に高い。各団体との関係性維持に努めていく。
- ・職員、ボランティア別の詳細なマニュアルと個々人の「ミッションシート」は、当日の各スタッフの動きを大いに円滑化した。急な人員変更の際の対応など、事前準備の難しさに課題は残るものの、次年度も継続して作成したい。
- ・今回より各会場間の連絡手段として導入した IP 電話機（業者よりレンタル）は、目立った音声トラブルもなく、リアルタイムで各会場間の情報交換や本部からの指示伝達が行えた。次年度以降も採用したい。

(ウ) 会場のあり方や規模に関する検討

- ・現在、運営負担の軽減やイベント全体のコンパクト化のため、令和8年度以降のN祭のあり方（会場や開催規模）について所管課と協議中である。

2 団体支援業務

(1) 相談対応

センター窓口や電話、メール、オンライン、アウトリーチ等を通じて受けた相談について、総合相談と専門相談（土業）に分け、かつ「助成金」「団体運営」「紹介・マッチング」など14の項目とそれに属さない「その他」にカテゴリーで整理して記録している。登録団体をはじめとする様々な個人・団体・企業等からの相談に対応している。

令和7年度 相談件数及び内訳（複数選択あり）

げんき応援事業助成金	186件	団体運営	106件
紹介・マッチング	104件	団体設立・登録	84件
その他の助成金	28件	行政報告・登記・法人化	21件
支援品	20件	情報発信・広報・PR	17件
会計・税務	14件	ITサポート	12件
イベント企画関連	10件	講座企画関連	11件
資金調達	7件	創業関連	4件
その他	21件		

総数604件

● げんき応援事業助成金

げんき応援事業助成金の申請にあたってはセンターへの事前相談が必須となっていることから、例年相談件数が多い傾向にあるが、今年度は186件となり、昨年度の162件から24件増加した。詳細は後述するが、この傾向は助成金申請件数の増加という結果にも表れている。

● 団体設立

子ども食堂・フードパントリー団体の立ち上げに関する相談の割合が高い。実際にセンターへの新規登録につながった団体も7団体あった。活動を始める動機や契機としては「居住地域に根差した活動をしたい」「カフェや飲食店を経営しており、それを活かして活動したい」というものが多かった。また既存の登録団体から、「子ども食堂単体からフードパントリーにも活動の幅を広げたい」という旨の相談もあった。

● その他の傾向

- 相談員の勤務曜日を原則固定にしたことで、相談者との日程調整がしやすくなったほか、複数回にわたる継続相談の調整も容易になった。相談員間での情報共有が必要な場合も、記録フォームの活用や、必要に応じた職員の関与を通じて円滑に行うことができている。
- 飲食店、建設業、サービス業などの事業経営者や、医療・福祉関係者など有資格者からの団体立ち上げ相談がみられ、本業の外で、職能の専門性を活かした活動を行いたいという思いから出る相談が一定数確認できた（約20件）。

月別の相談件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
R7	91	59	48	82	57	51	34	35	38	40	28	41
R6	78	32	45	83	81	54	66	69	62	44	43	56

過去の年間相談件数

	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31 (R1)	R2	R3	R4	R5	R6
総合 相談	226	228	246	269	228	239	245	307	340	334	371	368	336	391	383	711	713
専門 相談	1	4	6	7	4	7	9	6	7	0	2	0	0	3	2	1	0
計	227	232	252	276	232	246	254	313	347	334	373	368	336	394	385	712	717

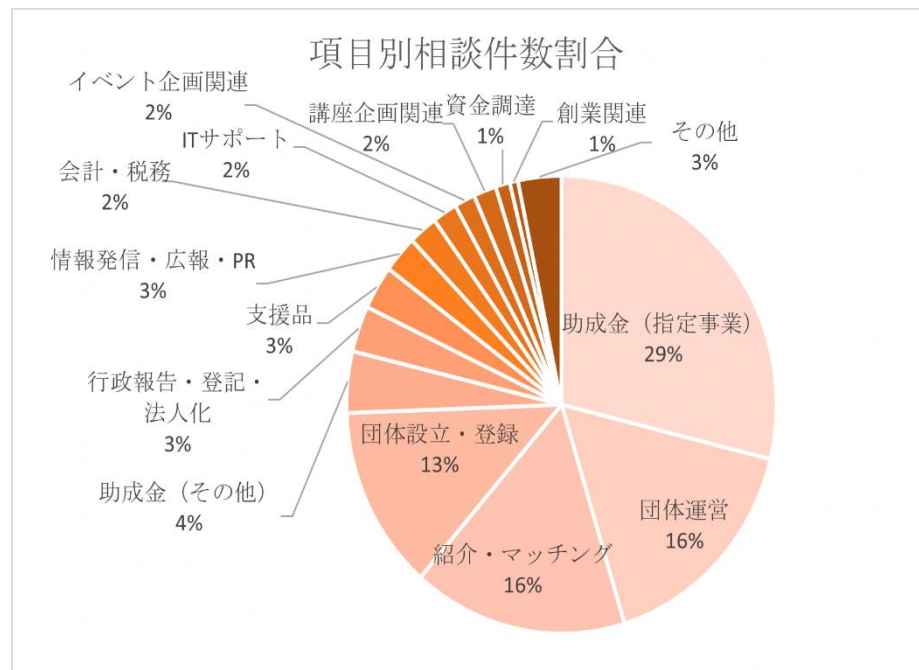
*総合相談とは、NPO団体の活動及び事業運営等についてのノウハウを持つスタッフ、相談員が応じる相談のこと。

*専門相談とは、会計・税務、人事・労務、経営等専門性の高い相談に対し、税理士や社会保険労務士等の専門家につなげ、各専門家が応じる相談のこと。

【項目別相談件数】

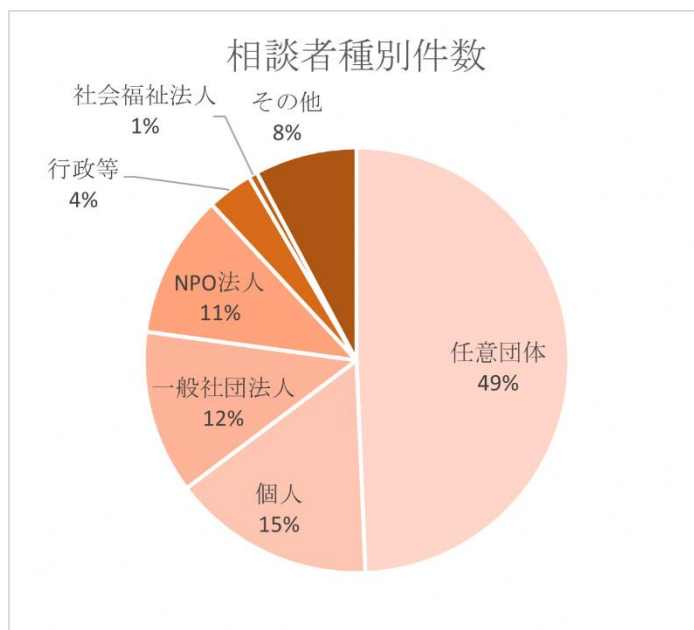
令和7年度の項目別の相談件数は上記の表に記載の通りで、割合は右のグラフの通りである。

なお、その他の相談には、当センターの設備・利用方法に関する問い合わせや、生活困窮者からの問い合わせ等が含まれ、内容は様々であった。



【相談者種別件数】

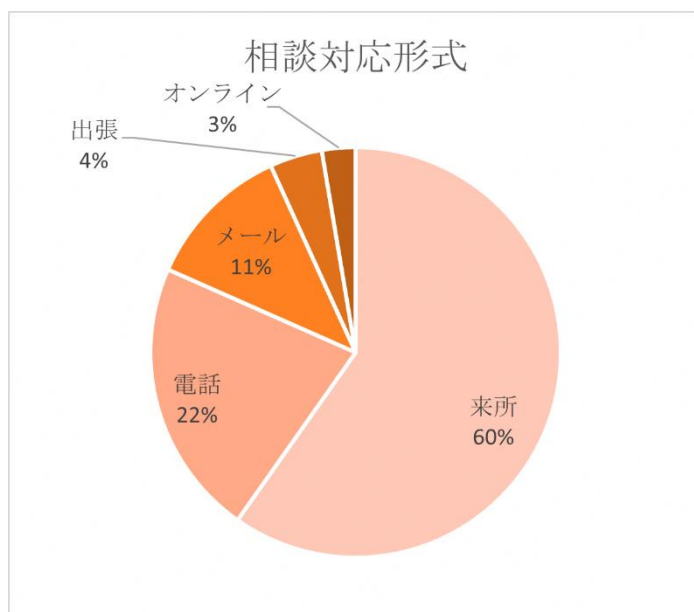
令和7年度の相談者種別の相談件数は、任意団体298件、個人93件、一般社団法人75件、NPO法人66件、行政・公共施設・社会福祉協議会21件、社会福祉法人4件、その他（企業・教育機関など）47件であった。



【相談対応形式】

相談対応は、相談者がセンターに来館するほかに電話・メールでも対応している。また、イベント出展時やアウトリーチ中の相談を「出張」、Zoomを活用しての相談を「オンライン」に分類している。

来所相談の件数は361件、電話が132件、メールが70件、出張が25件、オンラインが16件となっている。



(2) 交流会

ア 取り組みの状況

主にNPO活動支援センター登録団体を対象に、活動上の課題や地域課題の共有、団体間の交流および連携促進を目的として意見交流会を実施している。

今年度は、登録団体に限らず、センターに未登録であっても地域で活動している団体・個人の参加を可能とし、より開かれた交流の場づくりを行った。

今年度は、団体交流会を2回、子ども食堂・フードパントリー交流会を2回の計4回を開催した。原則として対面で実施し、参加者同士の直接的な交流に重きを置いているが、令和8年2月開催予定の子ども食堂・フードパントリー交流会では、対面に加えてオンライン参加も取り入れ、より多様な団体が参加しやすい方法で開催した。

4月開催の第1回団体交流会では、30名を超える参加があり、分野を越えた団体同士の交流の機会となった。登録団体の特技を活かしたアイスブレイクや自己紹介方法の工夫により、和やかな雰囲気の中で意見交換が行われた。

7月開催の第1回子ども食堂・フードパントリー交流会では、社会福祉協議会や東京神宮口ロータリークラブからの情報提供を行うとともに、小グループでの交流を通じて、参加者同士の活発な意見交換が見られた。

実施回数4回 (2企画)

	交流会名・内容	参加数
1	第1回 NPO活動支援センター登録団体交流会	
	日 時/令和7年4月20日(日) 14:00~16:30 場 所/こども支援センターげんき 研修室3 分 類/連携強化 内 容/分野を超えた仲間づくりワークショップ げんき応援事業助成金説明等	申込/36名 参加/32名 (28団体)
2	第1回 子ども食堂・フードパントリー交流会	
	日 時/令和7年7月11日(金) 18:00~19:45 場 所/足立区NPO活動支援センター A会議室 分 類/連携強化 内 容/子ども食堂・フードパントリー実施団体への情報提供、ワークショップおよび交流	申込/21名 参加/20名 (15団体)
3	第2回 NPO活動支援センター団体交流会	
	日 時/令和7年10月25日(土) 14:00~15:40 場 所/ギャラクシティ 3F ギャラクシティふぉーらむ(多目的室1) 分 類/連携強化 内 容/ミニトーク「地域団体として活動するということ」 小グループに分かれて交流	申込/27名 参加/27名 (21団体)

4	第2回子ども食堂・フードパントリー交流会	
	日 時／令和8年2月13日(金) 18:00~19:45 場 所／足立区 NPO 活動支援センター A会議室・オンライン 分 類／連携強化 内 容／足立区より情報提供、支援提供元より支援に対する思い・取組について意見交換会	申込／会場7名 オンライン8名 参加／会場11名 (9団体) オンライン8名 (8団体) 登壇団体3名

参加者総数

年 度	対面参加者数	Zoom 参加者数	参加者総数
令和7年度	93名	8名	101名
令和6年度	110名	0名	110名
令和5年度	116名	13名	129名
令和4年度	68名	24名	92名

イ 取り組みの成果

団体交流会では、分野や活動規模の異なる団体同士が交流する中で、互いの活動内容に関心を持ち、積極的に質問や意見交換を行う様子が見られた。

自団体の活動と他団体の取り組みを掛け合わせ、「新たな企画ができないか」「今後このような活動を行ってみたい」といった具体的な連携の可能性まで話が発展する団体もあり、単なる顔合わせにとどまらない、実践的な交流の機会となった。

- アイスブレイクや自己紹介方法の工夫により、参加者同士の心理的な距離が縮まり、会話が生まれやすい環境づくりにつながった。一方で、グループワークの時間配分については、後半にやや間延びした雰囲気が見られたため、今後は交流会終了後に自由交流の時間を設けるなど、交流時間の配分の工夫が課題として挙げられる。
- 子ども食堂・フードパントリー交流会では、食支援ニーズの高まりへの対応方法や、参加者対応におけるトラブル事例など、実践的な課題について意見交換が行われた。
そのほか、子ども食堂の理想的な運営の在り方、補助金の前払い制度の有用性、シニア世代への食支援の必要性など、多岐にわたるテーマが自然発生的に議論された。
- 団体の高齢化や世代交代といった継続的な活動運営に関する課題について、各団体の実践例を交えた意見交換が行われた班もあり、今後の活動継続や人材育成に向けたヒントを得る機会となった。

閉会後には名刺交換を通じて、団体同士のみならず登壇者との交流も図られ、アンケートにおいても「有意義な時間であった」との声が多く寄せられるなど、満足度の高い交流会となった。

ウ 課題

今年度は、各交流会を計画どおり実施し、年間を通した開催バランスは保たれていた。

一方で、団体交流会においては、グループワークの時間配分や進行方法について工夫の余地が見られたほか、対面参加が難しい団体もあることから、参加しやすい開催方法の検討が課題として挙げられる。

エ 事業改善の方向性

今後は、全体交流会や子ども食堂・フードパントリー交流会の役割を整理しつつ、テーマ設定や進行方法を工夫することで、分野を越えた協創が生まれやすい場づくりを進めていく。

また、対面参加が難しい団体にも配慮し、オンラインの活用を含めた多様な開催方法を取り入れることで、より幅広い団体が参加できる交流の機会を確保していく。

対象地域を限定した地域交流会といった企画も検討しながら、交流会で生まれたつながりを、今後の連携や協働によりつなげられるよう、引き続き事業内容の改善を図っていく。

(3) アウトリーチ

登録団体の活動現場に足を運んで視察・聞き取りを行うことで、各団体の活動状況や抱えている課題等をより深く把握することを目的として、アウトリーチ活動に注力して取り組んでいる。

日常的なコミュニケーションの中で活動の変化（良い方も悪い方も）を把握できた団体や、センターへの新規登録団体、さらには講座などセンター事業で連携を深めたい団体など、その後の展開やさらなる支援を見据えた優先度をつけて団体を選定、順次アウトリーチを行っている。

各職員はアウトリーチ実施後、事業実施の様子やヒアリング内容、それらを踏まえたその後の展望などについて「アウトリーチ報告書」フォームに入力・記録し、職員間の知見の共有につなげている。

また、支援活動のウィングを広げていく観点から、センター登録団体以外（NPO団体、支援機関等）へのアウトリーチも適宜実施している。

アウトリーチ件数（センター登録団体のみ）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
件数	4	6	8	9	5	6	3	4	8	12	4	5	74

アウトリーチ件数（センター登録団体以外）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
件数	0	1	2	1	1	5	7	8	3	4	3	3	38

【現状・課題等】

- 団体の状況・課題・ニーズの把握

センター来館時にコミュニケーションを取るよりも、団体の活動場所（ホームグラウンド＝団体側にとって安心できる場）に訪れて話を聞くことで、より本音の意見、本質的な課題についてヒアリングすることができるようになった。

またアウトリーチによるヒアリングの後、その後の状況などを来館時にヒアリングするなどして、継続的なコミュニケーションを図ることで、登録団体との関係性をより良好かつ強固なものにできるようになった。

特に助成事業等、団体が進めている事業の転換点となるようなタイミングでのヒアリングがリアルタイムな課題把握に有効であった。

● アウトリーチによる支援ニーズ、シーズ把握の事例

・新規登録団体へのアウトリーチ

Piyochiii House

子ども食堂を主な活動として新規登録した団体が初めてのイベント開催に臨むという情報を得て、職員が視察に出向いたもの。当日は「おやつ会」を開催しており、子どもから大人まで幅広い層の人々が訪れた。

ヒアリングの中では、活動開始間もないこともあり人手不足が課題として挙げられた。職員からはその回答として、センター主催の「子ども食堂・フードパントリー交流会」を案内し、他の登録団体との関係性を築き、情報交換を行うことを勧奨した。

一方で、ヒアリングを通じて、他の地域団体と数多くつながっている状況も把握でき、以降の支援にあたり非常に有効であった。

・講座登壇依頼に際してのアウトリーチ

センターの講座として初めてのテーマとなった「学習支援講座」の企画にあたり、登壇候補団体へのアウトリーチを行ったもの。視察先は「日本語ボランティアめいめい」「ハレノヒおとなこども食堂」「認定特定非営利活動法人カタリバ」の3団体。

センター職員が活動の現場に出向き、各団体の活動実施体制や活動への思い、抱えている課題などについて実際に目で見ながらヒアリングし、活動実態を把握した。その上で講座登壇を正式に依頼した。該当講座は2月8日（日）に実施した。

(4) げんき応援事業助成金

げんき応援事業助成金は区の「協働・協創パートナー基金」を活用し、区内の公益活動の支援と団体の活性化と自立を図るために設けられた助成制度である。NPO活動支援センターが受付窓口となっており、センターへの事前相談が必須となっている。今年度も第一期と第二期に分けて申請受付・審査が行われ、採択された事業についてはセンター職員が随時、事業視察に取り組んでいる。

なお今年度は第二期の申請開始時期に合わせて下記の通り講座を開催し、登録団体の助成金・補助金獲得、ファンドレイジングに関するノウハウ向上を目指した。

事前講座

知っておきたい！助成金・補助金獲得のコツ	
日 時／令和7年7月3日(木) 10:30~12:00 場 所／足立区 NPO 活動支援センター・オンライン 講 師／足立区 NPO 活動支援センター相談員 田仲恭子 内 容／助成金・補助金の意味とその違い、また主に「げんき応援事業助成金を例として申請書の書き方を解説。また助成金・補助金の申請についての解説を通して、団体のファンドレイジング支援とした。	定員／会場 20名 オンライン 20名 申込／会場 3名 オンライン 4名 参加／会場 2名 オンライン 4名
知っておきたい！助成金獲得のコツ	
日 時／令和8年3月24日(火) 10:30~12:00 場 所／足立区 NPO 活動支援センター・オンライン 講 師／足立区 NPO 活動支援センター相談員 田仲恭子 内 容／主に「げんき応援事業助成金」を例として申請書の書き方を解説。また助成金の申請についての解説を通して、団体のファンドレイジング支援とした。	定員／会場 20名 オンライン 20名 申込／会場 4名 オンライン 4名 参加／会場 3名 オンライン 3名

申請対応及び結果

令和7年度	事前説明会	申請件数	採択件数	不採択件数	採択後辞退
第一期	3月23日	25	24	1	1
第二期	6月29日	23	19	4	0

申請内訳

令和7年度	げんき応援	ステップアップ	課題チャレンジ	協働・協創推進
第一期	17	3	5	0
第二期	15	3	5	0

視察状況

令和7年度	現地視察	ヒアリング
第一期（24件）	24	1
第二期（19件）	16	3

今年度の申請件数や採択件数は上記の通りである。第一期の申請件数はほぼ例年通りとなったが、第二期の申請件数の多さが今年度の大きな特徴である。例年は10～15件程度の申請があり、第一期から減少する傾向にあったが今年度は23件で、第一期（25件）とほぼ同数で推移した。

もう一つの特徴は申請件数に対する採択率の高さであり、第一期が24/25件（96%）、第二期が19/23件（約82.6%）となっている。要因としては、これまでの相談対応や事業視察によるノウハウの蓄積が大きい。申請書作成にあたっての適切なフォロー、アドバイスにつながり、採択率の向上という結果に表れたと考えている。

相談傾向・課題等

- ・ 新規登録団体からの申請が多い傾向にあり、第二期に申請のあった23件のうち半数以上を占める15件が2024年度以降に登録された団体であった。
- ・ 新たな活動への思いを持って来館される相談者が増えている一方で、その思いに対して事業計画や実行能力の部分については不足しているケースが散見される。NPO活動未経験者による相談が多い状況を鑑みると致し方ない部分もあるが、そうした団体に対して、具体的な事業内容や実施に向けたスキームの部分まで、センターの相談機能によって伴走支援を図っていくことの重要性が再認識された。実際に事業が採択されたのち、事業準備を開始してから実施や集客が難航する団体も多い。周知方法などについて、事前相談の中で重点的にヒアリングを行い、団体内部でも念入りに検討を重ねることを勧奨していきたい。

3 その他業務

(1) 団体登録状況について

ア 登録団体数

今年度の登録団体数は、3月末時点で318団体となっている。平成23年度以降、過去最高数を更新した。内訳を見ると、子どもの居場所づくりや食の支援に関する団体の登録が依然として多く、区民の関心や問題意識の高さがうかがえる。また、今年度は特に、飲食店経営のノウハウを有する区民が、子ども食堂やパントリー事業を立ち上げる事例が多く見られた。

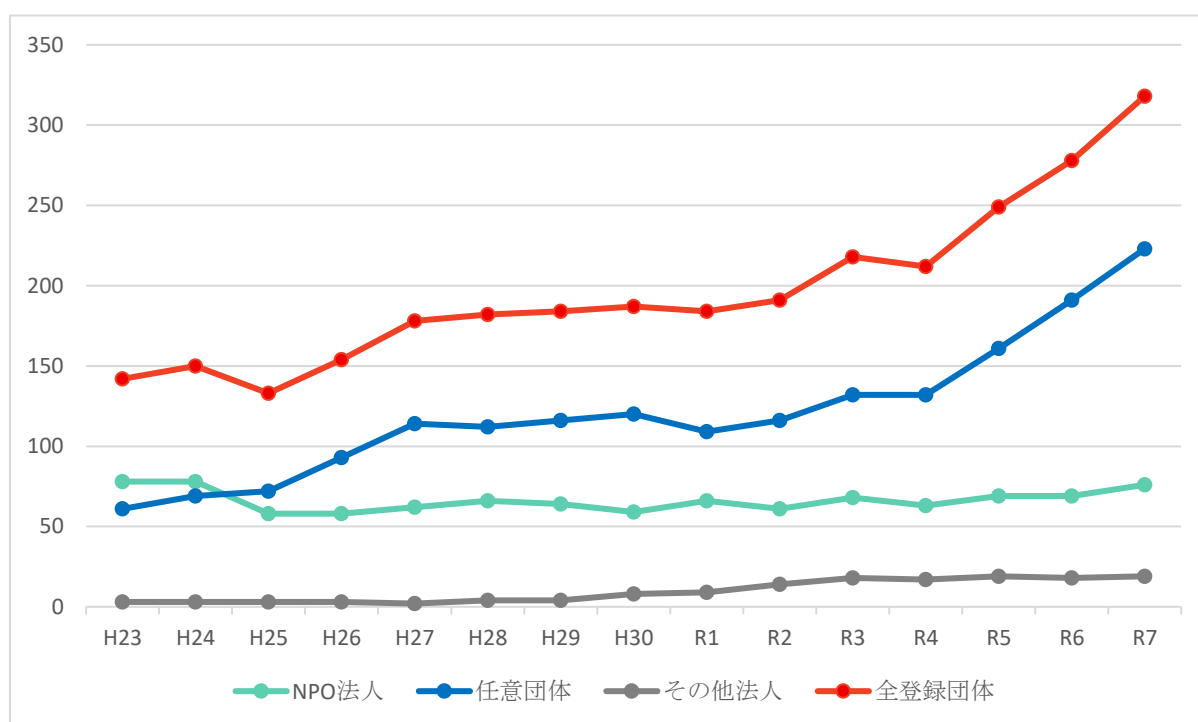
センターにおいても、相談を受ける体制にとどまらず、職員自らが積極的に登録団体へアプローチし、現状の課題等をヒアリングすることで、活動の継続を支援・推進している。

また今年度の新規登録団体数は41団体であり、その内訳では、新たに団体を設立した任意団体が最も多かった。

登録団体件数

NPO 法人	76	任意団体	223	その他の 法人	19	合計	318
-----------	----	------	-----	------------	----	----	-----

年度別登録団体数の推移

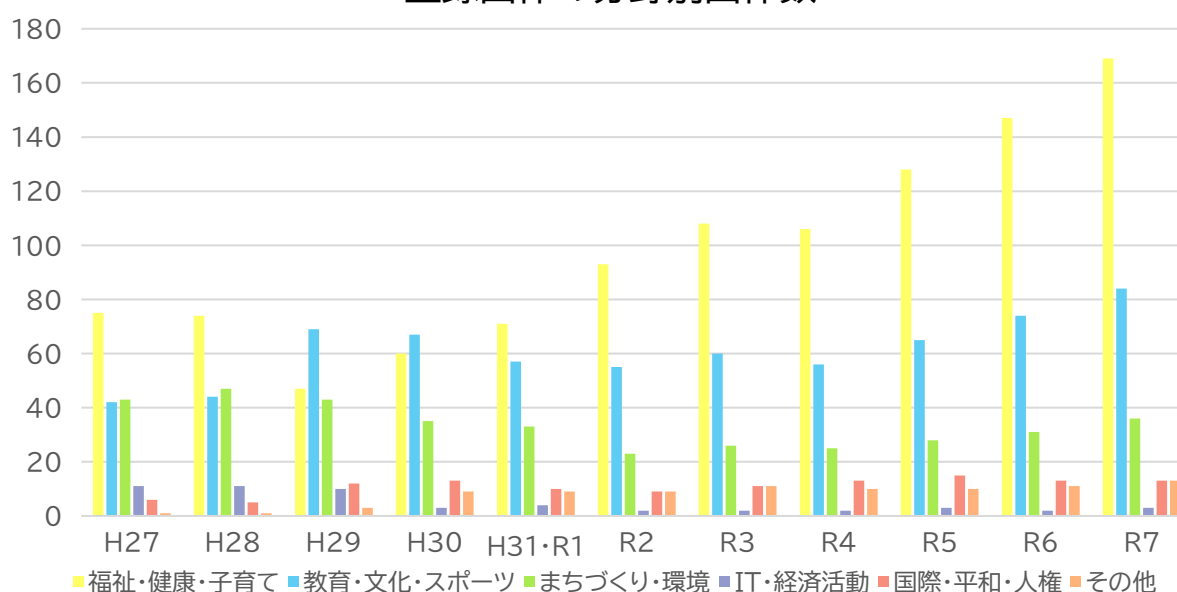


※「その他の法人」は一般社団法人、社会福祉法人、公益社団法人、合同会社及び組合である。

登録団体の分野別団体数

	H28	H29	H30	H31 R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
福祉・健康・子育て	74	47	60	71	93	108	106	128	147	169
教育・文化・スポーツ	44	69	67	57	55	60	57	65	74	84
まちづくり・環境	47	43	35	33	23	26	27	28	31	36
IT・経済活動	11	10	3	4	2	2	2	3	2	3
国際・平和・人権	5	12	13	10	9	11	13	15	13	13
その他	1	3	9	9	9	11	10	10	11	13
全登録団体	182	184	187	184	191	218	215	249	278	318

登録団体の分野別団体数



イ 新規登録団体数

今年度の新規登録団体は41団体であり、内訳は法人7団体、任意団体34団体である。

新規法人

No.	団体名
1	NPO法人 あかつき
2	いたちのおうち
3	がじゅまるの会
4	特定非営利活動法人青少年自立援助センター
5	特定非営利活動法人国際ビフレンダーズ東京自殺防止センター
6	Will be well わかものスポーツ支援
7	ジョーガールサッカークラブ

新規任意団体

No.	団体名
1	あしがる
2	Adachi Helper
3	NPO 団体 DECO
4	Kinaco
5	キラキライキイキプロジェクト
6	けけてん factory
7	こころとからだを整える「はれごはん」
8	ことはな
9	子ども食堂一日一善
10	子ども食堂 SHO-GUN
11	コドモノマド
12	地域コミュニティと足立区按摩・マッサージ・指圧師の会
13	トコトコ
14	なかまんま食堂
15	ハグハグ
16	花畑もりあげ隊
17	Bambino
18	Piyochiii HOUSE
19	ひよっこリナースマンズ
20	リリース・トーク
21	わたしびよりこどもじかん
22	日本とインドの架け橋ヤートラー
23	あだちおたがいさまポスト
24	あだち金太郎会
25	家庭用使用済み食用油回収促進クラブ
26	花畑地区交通協議会
27	あだち平和の種の会
28	MOA 美術館足立区児童作品展実行委員会

No.	団体名
29	あだち少年少女合唱団
30	Open Coral Network
31	音楽劇団「ART Lounge」平和&共生
32	教育キリンの会
33	駄菓子総合研究所
34	ハニホヘトイロ

(2) 支援品関連業務

令和7年度の支援品提供事業者および登録団体への分配状況についてまとめた。今年度は、新規の提供元事業者数が昨年度と比較して4事業者増加しているものの、いずれも単発的な提供にとどまっている。定期的・継続的な提供には至っておらず、安定した支援品確保という点では引き続き課題が残る状況である。

単発的な提供は時期が不定期であるため、複数の提供が同時期に重なった場合には、一時的に保管場所の確保が困難となる場面が見られた。そのため、団体への分配スケジュール調整や、登録団体に対する速やかな引き取り依頼等、運用面での調整に特段の注意を要した。昨年度同様、食品倉庫の容量には限りがあり、保管場所の確保は引き続き課題となっている。

支援品保管状況参考写真



また、全国的な米価格の高騰が続く中、登録団体からも米の確保に関する相談が増加している。こうした状況を踏まえ、今年度は政府備蓄米の無料交付申請を行い、1トンの米を確保した。主食となる米の安定的な提供は、子ども食堂やフードパントリー活動の継続において重要であり、一定の支援効果があったと考えられる。

一方で、子ども食堂・フードパントリー団体数は引き続き増加傾向にあり、限られた支援品を多くの団体で分配する状況は継続している。今後も、単発的な提供に依存する現状を踏まえ、継続的な提供元事業者の開拓や、保管・分配体制の在り方について検討を進めていく必要がある。

提供元事業者一覧（「新規」＝令和6年度に提供のなかった企業・団体）

	提供元事業者	内 容
既存	東京都米穀小売商業組合	米 720kg
既存	阿久津ブロイラー 株式会社	鶏むね肉 132kg
既存	下山畜産 株式会社	牛肉切り落とし 233.5kg
既存	株式会社 ヤマノ	豚肉切り落とし 160kg
既存	有限会社 浅野商店	常温・冷蔵・冷凍食品等 298点
既存	株式会社 享屋	中華麺（切れ端のため数量測定不可）
既存	足立成和信用金庫	フードドライブ・生理用品等 1,836点 フルーツ類1,020点（バナナ550、みかん470）
既存	足立区	フードドライブ 13,436点
既存	オイシックス・ラ・大地 株式会社	レトルト食品・お菓子・飲料・日用品等 15,106点
既存	津軽みらい農業組合	米 200kg
既存	パルシステム東京	クロワッサン、パックご飯 760点
既存	東京都生活協同組合連合会	キャットフード、日用品 1,130点
既存	信濃運輸株式会社	アルファ化米 1,000食 常温食品・日用品 275点
既存	ネッソー株式会社	すいか 30玉、米 200kg、150kg
既存	一般区民（複数名・複数回）	レトルト食品等 89点、（玉ねぎ1箱）
既存	IKEA	チキンカツ他 873点
既存	カーブス竹ノ塚保木間店	フードドライブ 185点
既存	東京都トラック協会	米 300kg
新規	奥野住販株式会社	米 30kg
新規	ミナミ商事株式会社	食器類 多数
新規	東京ガスオールワンエナジー株式会社	防災備蓄食品 2,113点
新規	デフ・サポート足立	防災用品 384点

	提供元事業者	内 容
新規	子ども食堂支援協議会	飲料 1, 200点
新規	ファースト物流株式会社	野菜 500kg
新規	日産東京販売株式会社	防災備蓄水・食品 69箱
新規	バーチャルフォトウォーク ジャパン	乾燥スープ 5点
新規	日本カニゼン株式会社	非常食 70セット
新規	農林水産省	備蓄米 1トン

年 度	合 計		合 計
	既 存	新 規	
令和7年度	18事業者	10事業者	28事業者
令和6年度	18事業者	6事業者	24事業者
令和5年度	19事業者	3事業者	22事業者
令和4年度	17事業者	13事業者	30事業者

※既存の事業者には一般区民、足立区を含む

支援品提供団体数・支援人数

年 度	支援品を提供した団体数（延べ）	団体が支援した人数（延べ）
令和7年度	1, 159団体	22, 673人
令和6年度	989団体	33, 794人
令和5年度	819団体	39, 193人
令和4年度	393団体	38, 532人

支援品を提供した団体数（延べ）のうち、支援人数を提出していない場合（提供事業者の意向により報告書不要、提供後事業を行っていない等）や、支援した人数の報告は団体によって世帯数で報告されている場合も多いことから、実際に支援した人数は団体が支援した延べ数を大きく上回ると予測される。

企業・中間支援組織一覧

事業者名	内容
オイシックス・ラ・大地 株式会社	関係企業や団体から集めた支援品を、子どもの食支援を目的として活動している登録団体へ配布。15団体とマッチング。令和4年度より継続。
一般社団法人 全国食支援活動協力会	①関係企業からの支援品提供情報を、登録団体へ共有する。（例：餃子の王将 お子さま弁当の配布申込等） ②子ども食堂やフードパントリーを実施している団体向けの助成金情報を、登録団体へ共有する。
事業者名	内容
東京都生活協同組合 連合会	関係企業から集めた支援品を、登録団体とマッチングし受け取り調整を行う。令和4年3月以降連携スタート、継続。
ネッスー株式会社	全国の農協から集めた規格外野菜を登録団体へ配布する。令和6年2月より連携開始。

(3) その他事項への対応状況

項 目	対応状況
大学との連携及び学生の受け入れマッチング	<ul style="list-style-type: none"> ・東京未来大学の「地域連携」において、講義登壇のほか学生とボランティア受け入れ可能な登録団体とのマッチング対応。 【団体とマッチングした学生数】 5名程度 ・文教大学の「サービスラーニング」（春・秋）においては、講義登壇や学生とボランティア受け入れ先団体とのマッチングのほか、登壇講師（登録団体）の選定と各種調整を行った。 【団体とマッチングした学生数】 春学期：3名 秋学期：3名
各関係機関との連携及びコミュニティミックス連絡会等の地域連携会議への参加	<p>社会福祉協議会、総合ボランティアセンター、NPO活動支援センターの3機関合同でコミュニティミックス連絡会を実施。</p> <p>第1回目：重層的支援体制整備事業【地域づくり事業】説明会 8/27（水）実施 主催：社会福祉協議会</p> <p>第2回目：足立区災害ボランティアセンター設置運営訓練 10/19（日）実施 主催：総合ボランティアセンター</p>
NPO法人等基礎調査および所轄庁調査	新規認証及び転入法人への団体登録勸奨状況：助成金情報等、法人側にセンター登録のメリットを感じていただけるような勸奨方法を検討中。
関連情報の収集・整理・提供	アウトリーチで情報収集に取り組んでいる。 また各種助成金等の情報を登録団体宛てに随時周知している。
NPO法人設立ガイドブック及びNPO法人運営ガイドブックの更新	両ガイドブックとも検証、加筆、修正を行い、内容を更新した。
センター案内リーフレットの作成・更新・発行・配布	内容、デザインを更新し、3月に500部発行。
あだちフードパントリーマップの作成・更新・発行	掲載団体を再調査し、2025年7月版として1,400部発行。
協働・協創パートナー基金の周知勸奨	講座等開催時に、参加者に対して案内している。
先進事例・助成金・啓発講座情報等の収集・提供	<p>収集：財団からの連絡、全国的な支援機関からの情報提供、職員のアウトリーチによる情報収集等で情報を把握。</p> <p>提供：月1回メールマガジンで登録団体に配信。そのほか、相談対応の際にも必要に応じて情報提供を行っている。</p>
センター登録団体へのメールマガジンの配信	月1回配信している。

令和7年度 NPO活動事業報告書

令和8年5月発行

発行 足立区

編集 足立区 政策経営部 あだち未来創造室

SDGs・協創推進課 事業調整係

〒120-8510

足立区中央本町1-17-1 (本庁舎南館9階)

電話：03-3880-5020

FAX：03-3880-5610

E-mail：npo@city.adachi.tokyo.jp